

# 表

缶を振って、  
中身が無いか確認！



中身が残っていたら、  
使い切る！

紙袋に新聞紙などを入れ、  
そこに吹き付けると○  
必ず屋外で行うこと！

## 正しい捨て方で事故防止!

地域の分別方法に従って、  
ゴミに出しましょう！  
ガス抜き済みの表記をしておくと、  
回収する人が安心

ガス抜きキャップを使って、  
中のガスを抜いて缶の中身を  
空にする！



### 正しい使い方で、スプレー缶は簡単、便利！

スプレー缶（エアゾール缶）を長い間放置すると、錆や、内容液の漏れに繋がりますので、使わないスプレー缶は廃棄してください。  
使い切ったエアゾール缶とプラスチックは各市区町村の指示に従い、分別して、ごみにだしてください。  
スプレー缶は、中身を完全に使いきってあれば、一般の金属容器と同様、安全に廃棄することができ、またリサイクルも可能です。

スプレー缶（エアゾール缶）の  
捨て方を動画で解説！



## ガス抜きキャップの使い方

スプレー缶には【ガス抜きキャップ】が装着されています。  
中身のガスを出し切るために、ガス抜きキャップを使いましょう！

商品によっては、【ガス抜きキャップ（中身排出機構）】【ガス抜きキャップ（残ガス排出用）】【ガス抜きキャップ（ボタン）】等の表記を行うものがあります。  
但し、一部のスプレー缶（エアゾール缶）商品には、ガス抜きキャップは付いていません。  
【例】  
内容量100g以下のエアゾール製品又は、炭酸ガス・窒素ガス等の不燃性ガス使用商品（商品表示をご確認ください）

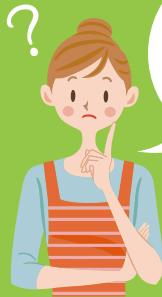
中身を使い切る

人などにかからないように、  
風通しが良い火気のない屋外で、  
風下に向けて使用してください

新聞紙などに吹き付けるなどして、  
周囲への飛散にご配慮ください

※ガス抜きキャップについてのお問い合わせは、商品に記載の“お客さま相談室”や“販売元”にお尋ねください。

※ガス抜きキャップの形状、使用方法は、商品によって異なります。商品に記載された使用説明を必ずご覧ください。



手順はわかったけど、もっと  
分かりやすく、動画を見  
ながらできればいいな…



形が特殊なものは、どう  
やってガス抜きすればいい  
んだろう？



### ガス抜きキャップ使用の注意事項

- 中身を完全に使い切ってから火気のない風通しの良い戸外で行う。
- 中身が残っている製品で実施すると、可燃性ガスが大量に出て危険。
- 屋内で実施すると、残っているガスが部屋にたまることのある危険。

## ガス抜きで気を付けることは？

**缶に直接穴を開けてガスを抜くことは絶対にしないでください！**

- ・エアゾール製品は内部が高圧状態にあるため、容器に穴を開けると中身が遠くまで噴射され、危険です。
- ・エアゾール製品に使われている可燃性のガス(LPG、DMEなど)は空気より重いため、換気扇を回しても吸い込まれずに下にたまってしまいます。

**キッチンシンク中でのガス抜きキャップの使用は“絶対”に行わないでください！**

- ・室内やキッチンでは思わぬ火種で引火事故を引き起こす可能性があるため、ガス抜きは風通しの良い屋外で行うようにしましょう。

右の写真はシンク内にガス(LPG)が滞留する様子をドライアイスで再現したイメージです。



使い切ったエアゾール缶とプラスチックは各市区町村の指示に従い、分別して、ごみにだしてください。  
エアゾール缶は、中身を完全に使いきってあれば、一般の金属容器と同様、安全に廃棄することができ、またリサイクルも可能です。

※『ガス抜き済み』と表示すると安全です。  
廃棄時に穴を開ける指示がある場合は、ガス抜きを完了した後に行ってください。



その他  
よくあるご質問